

事業報告

講座名	田んぼのいきもの調査		
日時	平成22年 7月17日(土) 9:00~14:00		
場所	周南市八代ツル渡来地	参加者数	9人
共催者	ツルの里いきもの研究会 代表 半田 智子		

1 スケジュール

- 9:00~11:00 いきもの採集・調査
- 11:00~13:30 分類と同定作業
- 13:30~14:30 座学・ふりかえり

2 活動内容

- 9:00~11:00 いきもの採集・調査

ツルの里いきもの研究会との共催講座「田んぼのいきもの調査」を、周南市八代のツル渡来地で実施しました。

講師の田原 義寛 氏（秋吉台エコ・ミュージアム自然解説指導員）の講話の後、現地に移動し調査を行うという日程で行われました。

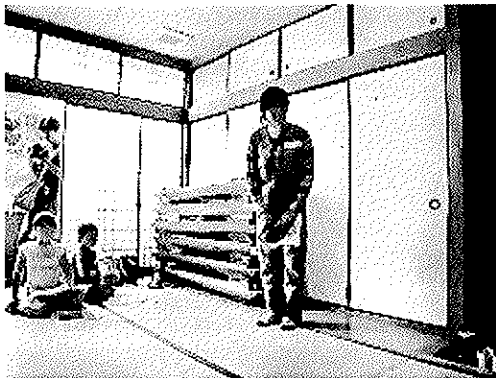


Fig.1 代表 半田智子氏のあいさつ

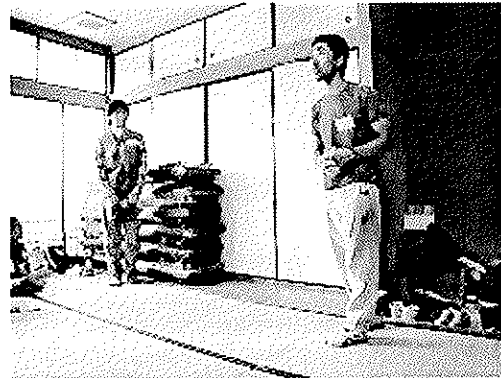


Fig.2 講師 田原義寛氏のあいさつ

今回の調査では、主として田んぼの中（止水域）や農業用水路（流水域）に生息する水生生物を対象に採集し、出現した生物から多様度を推計しました。

鶴いこいの里交流センターから歩いて10分ほどの周南市が所有する水田に移動し、採集方法の説明や注意事項などを聞いた後に調査を行いました。

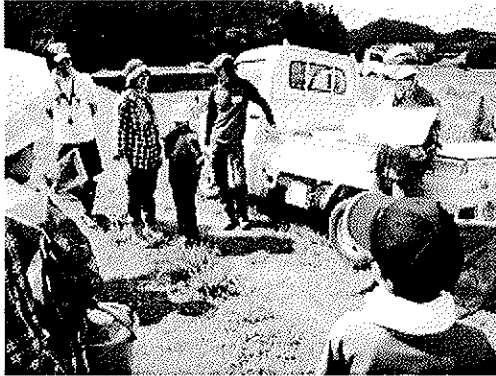


Fig. 3 現地での調査法の説明



Fig. 4 調査地点給餌田①



Fig. 5 調査地点給餌田②



Fig. 6 水生生物の仕分け

参加者は水田の側溝・水田の中・水田の側の土水路と環境の異なる3地点で各15分ずつ採集を行い、採集が終わる度に生きものを大まかに分類しながら大きな水槽に移しました。

11:00~13:30 分類と同定作業

鶴いこいの里交流センターに戻り、正確な分類・同定作業を行いました。



Fig. 7 調査地点給餌田③



Fig. 8 生物の分類と水族館の準備

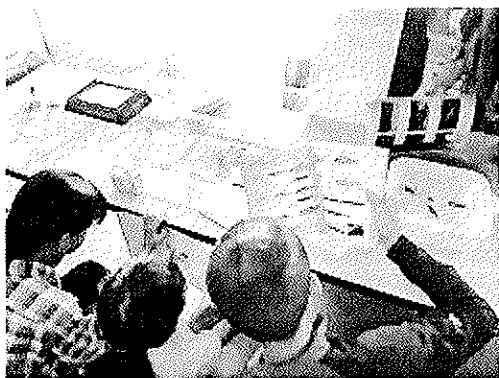


Fig. 9 図鑑を用いての同定作業



Fig. 10 講師による同定結果のチェック

種毎に捕獲数をカウントし水槽に移した後、ラベルを作成し水族館を完成させました。

13:30～14:30 座学・ふりかえり



Fig. 11 ツルと八代の環境についての講話



Fig. 12 集計結果発表と総評

いきもの研究会のメンバーで周南市教育委員会の増山さんより、ツルと八代の環境についてパワーポイントを用いた講話があり、冬期の八代におけるツルのねぐらや給餌田の利用実態、ツルの好む餌などの環境とツルの生態について分かりやすく解説していただきました。

3 まとめ

調査場所は、田んぼの生きものを観察できる機会など減多になく冬期の立ち入りが禁止されている場所でもあり、参加者にとってなかなか得ることの出来ない体験となりました。調査結果からは、生物の種数・個体数共に多く非常に豊かな環境であると言えます。今後とも動物種・植物種ともに継続して調査を行い、ツルに限らず多くの生き物にとっての生息に適した環境を整えることが望まれます。